

平成30年川南町学校規模適正化審議会第1回審議会会議録

平成30年11月28日
午後 7時00分 開会
川南町生涯学習センター

審議会出席者

委員長：染川比呂志 副委員長：平塚金治

委員：坂本幹夫 堤 康敏 永友和美 高橋陽子 松浦峻男 黒木 和敏 長野碩夫
富高保弘 永友繁美 神谷則子 宮崎吉敏

欠席者：川井田 修 金丸和史

事務局出席者

教育長：木村 誠 教育課長：大塚祥一 教育対策監：肝付正籍 課長補佐：渡部好文
学校教育係長：林 義光

<午後7時00分開会>

○教育長

《 挨拶 》

○委 嘱

各委員に委嘱状交付

○会長及び副会長選出

立候補者なし

事務局案 会長 染川 比呂志氏 副会長 平塚 金治氏
承認

会 長 《 挨拶 》

○諮 問

教育長より会長へ学校規模適正化に関し、諮問を行う

○協 議 議 長 染川会長

(1) 学校規模の現状について

事務局説明

説明者 大塚教育課長

配布された資料に沿って、プロジェクターを使って説明

学校適正化検討の経緯（座談会（第1回、第2回）の様子、アンケートについて、自治公民館への説明）川南町の人口推移（推計より早く減少）、児童生徒数の推移（資料1、資料2）中学校生徒数の推移、国の定める学校の適正規模（12学級

以上18学級以下)川南町では、川南小学校(15学級)だけが適正規模、次期学習指導要領(「主体的・対話的で深い学び」アクティブ・ラーニング)、部活動の状況、学校施設の状況(30年以上経過80%、40年以上経過40%)、アンケート結果

(2) 質 疑

各校区の参加者が少ない。具体的なものがないので、アンケート回答者も理解できず、分からないという回答が多くなったのではないかと。

何が目的のアンケートなのかが分からないので、分からないという回答が多くなったと思う。回答者が、子育て世代だけなので、今の子供たち、特に中学生にも意見を聞いたほうがよいのではないかと。

座談会参加者に子育て世代が少ない。これから、子育てする人の意見が必要。

(3) 意見交換

議 長

中学校再編ということで、皆さんの御意見をお聞きしたいと思います。

委員意見

委嘱期間が2年間となっているが、1年後までには、しっかりとした答申を出すべきではないかと思えます。

教育課長

今回の諮問に対して答申が出たら、そこで終了となります。

議 長

私としては、来年の3月までに、答申ができればと考えております。

委員意見

適正規模とは、何を根拠にしているのか、分からないのですが。

教育長

文科省の説明では、統廃合ありきではない。適正規模は、資料に示した通りです。今後は、複数学級を持っていない市町村が増えてくると思われます。町村教育長会では、複式になる基準を改正してもらおう要望は出している。

委員意見

統廃合には賛成だが、1クラス40人の定員は、多すぎると考えています。

先の子ども達が、どう育っていくか見据えて、意見を出す必要があると考えます。

1人で40人近くを見るのは、大変な場合があります。ある程度の規模の学校であれば、少人数指導の配置が行われます。それで、習熟にあった指導ができます。子どもの数が減って学習環境が厳しい、それよりも教員の質も大事ですし、部活で切磋琢磨していくことも大事です。

川南町に住んでももらいたいと考えたときに、学校がどうあるべきかが教育の中で、すごい重要で、こういう教育が受けられるから、こういう子育て支援があるからとい

う理由で、住まれる方がいると思います。今後、子どもが少なくなることは分かるのですが、それで、本当に中学校が1校でよいのかと思うところもあります。

資料3だと、小規模校だとデメリットが多いように思われるので、統合してもデメリットがある訳ですから、統合した場合のデメリットをどうするのかを考える必要がある。

統合して教育の質が上がるのであれば、それが一番だと思います。この資料を見ると、早く統合したほうが良いとも思いますが、地域の文化や歴史を考えると簡単に意見できないとは思っています。

中学校が1校で、本当にいいのかと私は思っています。

統廃合、仕方ないと思っています。何年後になるかは分かりませんが、統廃合後に、様々な問題は出てくるかも知れませんが、数年後、統廃合をしたほうが良いと私個人は思っております。

学校環境が子供たちに良い環境ではないと、その子供たちに良いイメージがないと子供たちは、将来この地域にいないと思います。統廃合後に出てくる課題に対して、良いイメージを作る環境がないと人口減少・幼齢人口減少は、更に悪くなっていくと思います。

議 長

先ほど委員さんも言われたとおり、学校も魅力ある環境を作って行かないといけません。小学校に入学して、すぐに集団生活を学びます。集団生活を通して自我を作っていく過程があります。食育も学校の学びの中に入っています。学力だけでなく、子供たちの教育というものをどういう方向性で行うのかという意見もいただくと統廃合するのか、別々のほうが良いのか、いろいろ意見も出てくると思います。子供たちを主役にして、どう育てていくのか考えてほしいと思います。

委員意見

どこの時点を見て、話しているのか分からない。2030年時点を見据えての話なのか、それ以前なのか、その後なのかが分からないまま話をしても、具体案は出てこない。規模を大きくしたから多様性が生まれるとは思えない。小規模校が多くあって、定期的な交流で多様性を育む考え方もあるのではないかと思います。一概に統廃合して、解決するものではなく、内容の問題で、1クラスでも対話をすれば多様性は育まれると思います。大人数いけば、多様性が生まれて、主体性も生まれるという考え方は、危険な考え方ではないかと思います。中学校を統廃合する要因として、主体性が生まれる、対話的な学びができるという考え方は、私は危険だと思います。大人数で集団生活することと、学校の教育の内容はイコールではないと思いますので、慎重に考える必要があると思います。

議 長

集団生活を過ごす中で、どのくらいの人数規模ならいいのだろうかという意見をお聞きしたいのですが、よろしいですか。

委員意見

定数は40人ですが、1人で40人の全てを見ていくことは、正直、なかなか難しいと思います。担任としては、30人ぐらいがちょうど良いのかなと思います。課題への対応とかあるのですが、いろんな友達に触れさせるということをやっています。授業での主体的、対話的な深い学びというのは、少ないと多様な考えに触れないことは、確かにあります。ある程度、人数がいれば、活発に話をすることができます。また、今は中学校の話をしていますので、専門教科の指導ができる先生がいることが、やはり学力向上に結び付くと思います。適正規模の学校にして、学びの質を向上させることが良いのではないかと考えています。いつも考えるのは、子供たちのためにどうなのかということ、地域にとってもどうなのかということです。

地域づくりをどうするかです。学校が無くなったら、地域はどうなるのか、子供たちがいないとやっぱり寂しくなるようですが、子供たちの気持ちは聞いていません。地域づくりがうまくいけば、人も集まって、子供たちも集まってくるのではないかと考えています。

人間というのは、人との関わり合い、集団の中で学ぶことがとても大切ではないかと思っています。ある程度の規模で学ぶということは、私たちが子供たちに与えられる環境にとって、一番大事なことはないかと感じています。私たちの考えに、ニューコンパクトシティ構想がありますが、私はそれが商店街、川南町の活性化になると考えています。中学校の統廃合は、仮に通学に時間が掛かっても、地域にとってのと、子供にとってのことは別物だと考えています。子どもにとって一番大事な事は何なのかといことで考えると、集団の中で学ぶことだと思っています。特にデメリットがあるのであれば、それをどうやって解決していくのか、子どもにとって何が一番大事な事なのかを基準に考えていけたらと思っています。

議長

ありがとうございました。いろんな意見を出していただいて、最後に取りまとめようと思います。それは、メリット面、デメリット面を含めてです。そんな形でまとめていければと思っていますので、御協力をよろしくお願いします。

長時間ありがとうございました。以上で終了します。

○その他

事務局

それでは、6その他になっておりますが、何か御意見はありますか。

《 意 見 な し 》

事務局

1月16日の御意見がありますが、よろしいですか。

《 意 見 な し 》

では、次回は1月16日、18時から開催いたします。また、通知を出しますので、よろしく申し上げます。

それでは、以上を持ちまして、第1回の審議会を終了いたします。ありがとうございました。

<午後8時45分終了>